|  |  |
| --- | --- |
| 平成26年6月17日（火）平成26年度　 第2回大阪府河川整備審議会 | 資料2-1 |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）**

**新　旧　対　照　表**

**大　阪　府**

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 本文P.12 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第2節　河川整備の現状と課題1. 治水の現状と課題（2）治水の現状と課題

記述無し | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第2節　河川整備の現状と課題1. 治水の現状と課題（2）治水の現状と課題

一方、治水対策のために整備された堤防、水門、排水機場等の河川管理施設が地震のゆれにより大きく変位（沈下）、損傷した場合、堤内地が低いため、広範囲にわたり浸水被害が発生する可能性があります。また、この流域では鋼矢板構造の堤防が密集した住宅地に近接して整備されている区間が多く、一旦、堤防が大きく変形すると、復旧に時間を要し、長期間にわたり市民生活に影響を及ぼすことが懸念されます。こうした被害を低減するため、想定される地震に対して耐震性能を満足しない河川管理施設の耐震対策が必要となっています。 |
| 本文P18 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第4節　河川整備の目標２．洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標大阪府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標は、平成22年6月に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、・・・（以下省略） | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第4節　河川整備の目標２．洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標 (1)治水対策大阪府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標は、平成22年6月に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、・・・（以下省略）(2)耐震対策大阪府では、耐震対策として、L1地震動・内陸直下型及び海溝型のL2地震動（以下、「L2地震動」という。）に対して以下の目標を設定します。L1地震動に対して、全ての河川管理施設は健全性を損なわないことを目標とします。また、L2地震動に対して、堤防は地震後においても朔望平均満潮位または河川の平常時の最高水位以上の高さを確保することを、水門、排水機場は、地震後においても開閉及び排水の機能を保持することを目標とします。 |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 本文P22 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第4節　河川整備の目標５．河川整備計画の計画対象区間本整備計画の計画対象は、淀川水系寝屋川ブロック内の全ての一級河川とし、そのうち計画的に治水整備や河川環境改善の取組みを実施する区間を図1．8の整備対象区間及び表1.3の整備対象区間一覧に示します。なお、河川の維持管理はブロック内の全区間で行うこととします。 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第4節　河川整備の目標５．河川整備計画の計画対象区間本整備計画の計画対象は、淀川水系寝屋川ブロック内の全ての一級河川とし、そのうち計画的に治水整備や河川環境改善の取組みを実施する区間を図1．8の整備対象区間及び表1.3の整備対象区間一覧に示します。また、L1地震動及びL2地震動に対して河川管理施設の耐震性能を検証し、耐震性能を満足していない区間において耐震対策を実施します。なお、河川の維持管理はブロック内の全区間で行うこととします。 |
| 本文P25 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要１．治水施設の整備これまで、寝屋川や恩智川などの河川改修、城北川などの分水路、恩智川治水緑地などの遊水地の整備とともに、地下河川や流域調節池の整備を行ってきました。今後は、時間雨量50㎜程度の降雨による床下浸水を防ぐため、（中略）恩智川治水緑地の越流堤の切り下げなどの整備を行います。 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要１．治水施設の整備これまで、寝屋川や恩智川などの河川改修、城北川などの分水路、恩智川治水緑地などの遊水地の整備とともに、地下河川や流域調節池の整備を行ってきました。今後は、時間雨量50㎜程度の降雨による床下浸水を防ぐため、（中略）恩智川治水緑地の越流堤の切り下げなどの整備を行います。また、河川管理施設の耐震対策として、必要な補強工事を実施します。 |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 本文P40 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要２．河川環境改善の取り組み図2.14 打上川治水緑地下流の親水空間整備イメージ | 第2章　河川の整備の実施に関する事項第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要２．河川環境改善の取り組み図2.14平成25年6月に完成した川勝水辺ひろば（寝屋川市川勝町） |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 参考資料P.25 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第2節　河川整備の現状と課題1. 治水の現状と課題（2）治水の現状と課題

記述無し | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第2節　河川整備の現状と課題1. 治水の現状と課題（2）治水の現状と課題

一方、治水対策のために整備された堤防、水門、排水機場等の河川管理施設が地震のゆれにより大きく変位（沈下）、損傷した場合、堤内地が低いため、広範囲にわたり浸水被害が発生する可能性があります。また、この流域では鋼矢板構造の堤防が密集した住宅地に近接して整備されている区間が多く、一旦、堤防が大きく変形すると、復旧に時間を要し、長期間にわたり市民生活に影響を及ぼすことが懸念されます。こうした被害を低減するため、想定される地震に対して耐震性能を満足しない河川管理施設の耐震対策が必要となっています。 |
| 参考資料P.44 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第4節　河川整備の目標２．洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標大阪府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標は、平成22年6月に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、・・・（以下省略） | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第4節　河川整備の目標２．洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標 (1)治水対策大阪府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標は、平成22年6月に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、・・（以下省略） |
|  | 記述無し | (2)耐震対策大阪府では、耐震対策として、L1地震動・内陸直下型及び海溝型のL2地震動（以下、「L2地震動」という。）に対して以下の目標を設定します。L1地震動に対して、全ての河川管理施設は健全性を損なわないことを目標とします。また、L2地震動に対して、堤防は地震後においても朔望平均満潮位または河川の平常時の最高水位以上の高さを確保することを、水門、排水機場は、地震後においても開閉及び排水の機能を保持することを目標とします。 |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 参考資料P.55 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第4節　河川整備の目標５．河川整備計画の計画対象区間本整備計画の計画対象は、淀川水系寝屋川ブロック内の全ての一級河川とし、そのうち計画的に治水整備や河川環境改善の取組みを実施する区間を図1．8の整備対象区間及び表1.3の整備対象区間一覧に示します。なお、河川の維持管理はブロック内の全区間で行うこととします。 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項第4節　河川整備の目標５．河川整備計画の計画対象区間本整備計画の計画対象は、淀川水系寝屋川ブロック内の全ての一級河川とし、そのうち計画的に治水整備や河川環境改善の取組みを実施する区間を図1．8の整備対象区間及び表1.3の整備対象区間一覧に示します。また、L1地震動及びL2地震動に対して河川管理施設の耐震性能を検証し、耐震性能を満足していない区間において耐震対策を実施します。なお、河川の維持管理はブロック内の全区間で行うこととします。 |
| 参考資料P.57 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要１．治水施設の整備これまで、寝屋川や恩智川などの河川改修、城北川などの分水路、恩智川治水緑地などの遊水地の整備とともに、地下河川や流域調節池の整備を行ってきました。今後は、時間雨量50㎜程度の降雨による床下浸水を防ぐため、（中略）恩智川治水緑地の越流堤の切り下げなどの整備を行います。 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要１．治水施設の整備これまで、寝屋川や恩智川などの河川改修、城北川などの分水路、恩智川治水緑地などの遊水地の整備とともに、地下河川や流域調節池の整備を行ってきました。今後は、時間雨量50㎜程度の降雨による床下浸水を防ぐため、（中略）恩智川治水緑地の越流堤の切り下げなどの整備を行います。また、河川管理施設の耐震対策として、必要な補強工事を実施します。 |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 参考資料P.71 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要２．河川環境改善の取り組み2)これからの取り組み図 2.24 打上川治水緑地下流の親水空間整備イメージ | 第2章　河川の整備の実施に関する事項第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要1. 河川環境改善の取り組み

寝屋川親水空間「川勝水辺ひろば」（寝屋川市川勝町）「川勝水辺ひろば」は、打上川治水緑地下流において、寝屋川市寝屋川上流における住民参加型の多自然川づくりにより平成25年6月に完成したものである。計画段階から、住民の考えを聞くためのワークショップを平成22年11月から平成24年1月まで6回にわたって開催し、設計には住民の考えを反映している。図 2.24 「川勝水辺ひろば」整備前・整備後 |